

変化した観るスポーツのあり方

～コロナとインターネットが加速させた「おうち観戦」～

清水明日華

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で変化した生活様式と時代の変化とともに普及したインターネットにより、テレビやスマホを介してスポーツを観戦するという方法が推奨された。コロナ禍の中で開催された東京 2020 オリンピック・パラリンピックは無観客開催となり、テレビの地上波でも連日放送された。私たちはこれをきっかけに新たにスポーツ観戦に興味を持つ人や、スポーツを観る時間が増加したのではないかと考え、「スポーツに興味がない人々もちょっとしたきっかけでスポーツを観るようになるのではないか」という仮説を立てた。これを検証するため大学生 51 名にアンケート調査を行い、回答をまとめた。

結果として仮説を立証することはできなかったが、スポーツを観ると回答した人は多かった。この機会にスポーツを観始めたという結果はなかなか得られなかったが、以前から日常においてスポーツを観たり、結果を確認したりするという結果が多く得られ興味深い結果となった。